



令和5年度

## 多北高 FRH 通信 第06号

令和5年8月31日(木)  
多北高 FRH 推進委員会  
探究推進部

### 2023年 第7回 AJEMUN (全日本高校教育模擬国連)

8月6日、7日(日、月)の2日間、上記大会が実施されました。会場は東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、本校からは2年生8名が参加しました。

「教育」を議題として、全国から集まった約600名の高校生が、一般議場3つ、初心者議場3つに分かれ、活発な議論を展開しました。

<参加生徒の振り返り>

◎参加したきっかけ

- ・全国規模の模擬国連に参加してみたかった。
- ・校内模擬国連での経験を活かしてみたかった。

◎事前に準備していたこと

- ・自分の担当国の識字率や、どのくらい教育が発展している国なのかを中心に調査した。また、全世界の教育発展に向けて、支援の必要な国はどのような国なのかや、自国の政策に協力してくれるような国はどこかを調べた。

◎自分の会議行動や、他の参加者を見て感じたこと、考えたこと。

- ・思ったより初心者議場だったので、WPをあらかじめ作ってきた人も少なく、リラックスして会議に参加できた。しかし、そんな中でも各国の意見をまとめてグルーピングしようと声を出していた人や、議題に対して考えをより追究しようと動いていた人もいて、目の前で見ていて感激しました。

◎感想

- ・とにかく楽しかった。“2日”という短い期間で、名前も高校名も知らない人々と協働し、WP、DR作成に向けて互いの意見をぶつけ、うまく折り合いをつけ、提出期限に間に合うか間に合わないか、ものすごい焦りと緊張感に襲われながら、何とかDR提出できた時の安心感。2日間で、これほどに大きく局面が動く経験をしたことがない。その為だろうか、終わった後の満足感(というのだろうか)が凄かった。
- ・全国規模の、しかも模擬国連を部活としてやっている人々が大勢集まった2023AJEMUNで、自身が受けた刺激は相当なものだった。様々な方法で自国の利益を守ろうとする姿に、今後の模擬国連で生かすことのできる多くのことを学んだ。そして、个性的かつ模擬国連に熱中するたくさんの仲間と出会い、繋がりを持つことができた。これが将来、どこかで役に立つといいなと思う。

<活動のようす>

